

調査へご協力をお願い

—2008年4月1日～2016年10月31日までに当科においてプロゲスチン製剤治療および
2010年1月から2011年12月31日までに当院で子宮内膜症と診断し手術療法を受けられた方へ—

三重大学附属病院 産科婦人科 近藤英司・吉田健太

【調査の概要】

子宮内膜症と臨床的に診断しプロゲスチン製剤を投与した方と手術療法を施行した方の治療成績および再発率の調査

【意義と目的】

子宮内膜症に対する今後の治療戦略を検討するため、当院における子宮内膜症の治療成績を調査します

【調査の方法】

対象となる方：2008年4月～2016年10月までに子宮内膜症と臨床的に診断しプロゲスチン製剤を投与した108人の方（子宮腺筋症15人を含む）および2010年1月から2011年12月までに当院で子宮内膜症と診断し手術療法を施行した39人の方。

調査の方法：カルテを閲覧し、治療に関する情報を収集します。

調査する項目：超音波検査・MR I検査・手術記録・診療録・病理記録

個人情報について：本人が特定できる情報は、施設内で匿名化し、インターネットに接続されていないコンピューターでデータを保存し、解析します。調査関係者は、対象となる方の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本調査を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らすことはなく、関係者がその職を退いた後も同様と致します。

【情報開示】

ご希望があれば、個人情報の保護や調査の独創性の確保に支障がない範囲内で、この調査内容の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、対象者ご本人の方が希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく下記へお問合せください。この調査は対象者の方のデータを個人情報からわからない形にして、学会や論文で発表しますのでご了解ください。この調査に参加されたくない場合には、下記へご連絡ください。その場合、診療など病院サービスにおいて皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

三重大学医学部附属病院 産科婦人科 近藤英司・吉田健太

電話：059-232-1111（平日：9時30分～17時00分） ファックス：059-231-5202